

事業所名称	法人本部	定員	
サービス種別	法人事務局		
サービスの特色・方針	理事会・評議員会を運営します。 会計・労務等、各事業所に共通する事務機能を担います。 各事業所を横につなげることで法人の機能を高めます。		
社会福祉への取り組み	「認知症にやさしい地域を創る会」への参加、運営事務		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<p>■既存事業の多機能化の検討</p> <p>○多様化するニーズに応じるため、既存事業において共生型サービス等を実施することの可否を検討する。</p>	○検討会の立ち上げ
財務	<p>■中長期事業計画の策定</p> <p>○保育部門について将来の利用ニーズを踏まえた中長期事業計画を検討する。</p> <p>○各施設の修繕計画を作成する。</p> <p>・主要な設備について経過年数、修繕・買替時期、再取得価額の一覧を作成する。</p>	○中長期事業計画の作成
業務	<p>■ICTによる業務改善を進める</p> <p>○紫雲の園において昨年度末に10ベッド分用意した見守り機器を一部の現場に先行して導入し、将来的な全床への設置に向けてノウハウを蓄積する。</p> <p>○介護部門の各施設において補助金を活用して見守り機器、インカム、スマホ連携ナースコールを導入する。</p> <p>○ルンビニひかり園の勤怠管理をタイムカードからクロノスに移行する。</p>	<p>○機器選定　～6月末</p> <p>補助金申請　10月</p> <p>実績報告　令和7年3月</p>
人材	<p>■業務改善によって職員負担の軽減を図る</p> <p>○ICTによる業務改善を進めるにあたり、職員負担の軽減効果が表れるよう職員の意見を反映しつつ、継続的に取組方法の改善を図る。</p>	<p>○改善前後のデータ比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残業時間 ・有休取得日数 ・休憩時間

事業所名称	特別養護老人ホーム 紫雲の園	定員	入 所 90名 短期入所 9名
サービス種別	介護老人福祉施設 (介護予防)短期入所生活介護		
サービスの特色・方針	法人理念である「大慈愛心」を実践するため、困難な事例においても積極的に関わりを持ち続けることが、ご利用者の満足、地域社会の満足、職員の満足に加え、法人の永続性の確保や将来世代の満足に繋がるという信念を持ち、職員 1 人 1 人の専門性の強化や施設内のチーム力の向上に努めていきます。		
社会福祉への取り組み	比較的安価な自己負担額で利用できる従来型多床室である事が、地域においては大きな福祉財産であるという事を自覚し、法人減免の活用促進や生活困窮者の受け入れを積極的に行ってまいります。		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	生産性の向上によりケアに直接関係しない業務の効率化を図り、直接関係する業務時間の増加や、質の向上を目指します。	ご利用者の視点をもとに、各部署の目標が立案され、その目標に対する取り組みが7割以上着手または実行できていること。
財務	ご家族や地域への情報発信により施設の認知度を高め、稼働率の向上に繋がります。	財務の視点をもとに、各部署の目標が立案され、その目標に対する取り組みが7割以上着手または実行できていること。 また、入所稼働 99%、短期稼働 75%が達成されていること。
業務	介護現場における生産性向上を目指して、新しく導入されるテクノロジー等の活用により、業務全体の流れを再構築します。	業務の視点をもとに、各部署の目標が立案され、その目標に対する取り組みが7割以上着手または実行できていること。
人材	生産性向上に積極的に取り組むために、ICT等に関する知識の習得を目指します。 また、感染症に対する理解を深め、職員一人一人の対応力を高めます。	人材の視点をもとに、各部署の目標が立案され、その目標に対する取り組みが7割以上着手または実行できていること。

事業所名称	浅羽デイサービスセンター	定員	通所介護・現行相当 50名 通所型サービスA 15名
サービス種別	通所介護（第一号通所事業を含む）		
サービスの特色・方針	<p>多数の有資格者を配置し、安心・安全なサービスを提供させていただきます。入浴方法は一般浴・個室・中間浴・機械浴があり、その方に合った入浴方法で対応します。食事についても、常食・一口大・きざみ・ソフト・ミキサーなど様々な食形態に対応しています。機能訓練に力を入れ、アプリ【トルト】を導入し、AIによる歩行分析を行い、評価し、運動トレーニングの提案をさせていただきます。その他に、季節の行事や制作、書道、調理、園芸、おやつ作りなどの趣味活動、また、地域のボランティアによる歌や踊りなどもご利用者の楽しみになっています。</p> <p>ご利用者が住みなれた家で自分らしく過ごせるように、職員が一丸となり自立支援に取り組んでいます。</p>		
社会福祉への取り組み	社会福祉法人利用者負担減免制度があります。		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	<p>■楽しい食事の提供</p> <p>○季節感、味・香り、見た目、雰囲気等の工夫</p> <p>■ICTを活用してデイサービスの様子をご家族様に報告する。</p>	<p>・調理レク、おやつレク 1回/月</p> <p>・ネット環境を整える、</p> <p>・ご利用者様への確認作業</p> <p>・機器の活用</p>
財務	<p>■事業所区分の大規模（I）の上限の最大値を目指す</p> <p>■機能訓練加算Iの算定率の向上</p> <p>■認知症加算取得の維持</p> <p>■ADL維持等加算算定（令和7年度）</p> <p>■茶ろん（サービスA）の登録者数を増やす。</p>	<p>○延べ利用者数延べ数 900人/月</p> <p>○週単位 240人</p> <p>○キャンセル率 10%以下</p> <p>○算定率 85%</p> <p>○認知症高齢者の日常自立度ランクⅢ、ⅣまたはMの利用者数 15%以上</p> <p>○登録者数 40人</p>

業務	<p>■生産性向上に取り組む</p> <p>○QC活動としての取り組み</p> <p>■リスクマネジメント</p> <p>○ヒヤリハット報告啓発活動</p>	<p>○研修</p> <p>○10月～</p> <p>○ケース会議の時間を利用 1回/月</p>
人材	<p>■内部研修</p> <p>○ケース会議</p> <p>○防災、感染症</p> <p>■外部研修</p>	<p>○ケース会議 2回/月</p> <p>○職員1名につき1講座の受講</p>

事業所名称	浅羽ケアマネジメントセンター	定員	6名
サービス種別	居宅介護支援		
サービスの特色・方針	<p>特色：本人の尊厳を尊重し、自立した日常生活を営むことができるように利用者の立場にたって支援します。</p> <p>方針：利用者、地域から信頼される事業所を目指します。</p> <p>常に利用者の立場で考え行動します。</p>		
社会福祉への取り組み	利用者の生活課題が地域において解決できるよう、他の専門職及び地域住民との協働を行いより良い社会づくりに貢献します。		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
利用者	<p>■適切なマネジメントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アセスメント/モニタリングが効果的できる ○個別化の視点に立って支援ができる ○住み慣れた地域で暮らし続けられるように生活全般を支える体制をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○最低でも月1回の自宅訪問を実施してモニタリングを実施 ○利用者の抱える事情とその背景にも思いを巡らせ情報収集する
財務	<p>■選ばれる事業所となる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○法令遵守 ○公正かつ誠実に業務を行い、地域住民、関係機関から信頼を得る ○特定事業所加算Ⅱの継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○給付管理件数目標：195件 ○運営基準の厳守 ○特定の種類又は特定のサービス事業者等に不当に偏ることのないよう公正中立に行う ○特定事業所加算要件の順守
業務	<p>■住み慣れた自宅で自立した日常生活を支援していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者の利益を最優先する ○特定の事業所に偏ることなく、公平・中立な立場で支援する ○保険・医療・福祉のサービスについて、利用者にわかりやすく説明する。 ○業務に関し知り得た利用者や関係者の秘密は漏らさない 	<ul style="list-style-type: none"> ○アセスメントの漏れをなくす ○利用者の意向を尊重する ○モニタリングを行いプランが適切かどうか見極める ○状態の変化に伴い必要な職種との連携を図る ○秘密保持

人材	<p>■<u>職員の自己成長と、ともに職場を活性化する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○個々に研修目標をたて研修計画の作成及び評価 ○相談援助職としての知識、技術を高め価値観等を身に着ける ○働きやすい環境作りをする ○相談できる体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職業的な知識・技術・技法を習得する ○週1回、カンファレンスを実施 ○グループスーパービジョンへの参加 ○自己評価がきちんとできる ○主任ケアマネは自己評価を受け止め意図的。計画的支援をする
----	---	--

事業所名称	浅羽地域包括支援センター	職員数	6名
サービス種別	地域包括支援センター 介護予防支援		
サービスの特色・方針	<p>高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせることができるように地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行います。</p> <p>センターでは、保健師（2名）・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種と生活支援コーディネーター・認知症地域支援推進員・介護支援専門員が配置されています。地域に暮らす住民等の困り事においては、それぞれの専門性を活かし、様々な機関と連携し業務を行っています。又地域のネットワークを駆使して解決に努めます。</p>		
社会福祉への取り組み	介護予防、日常生活への支援体制構築に努めます。又、地域に出向き活動に参加し住民の声を聞き取り、声が形になるよう取り組みます。		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民の相談に対応し、課題解決を図る ○民生委員との情報共有を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○電話、訪問での相談対応 250件 継続的に支援していく ○地域支え合い活動の推進 ○生活支援の担い手の育成、場の創出 ○民生委員児童委員協議会に参加 2回
財務	<ul style="list-style-type: none"> ○自立した生活が続けられるように、助言、予防のための計画の作成 ○委託事業所との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○R6年度給付管理数目標：200件 ○委託件数：70件
業務	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくり、自立支援、介護予防 重度化防止施策の充実 ○地域共生社会の実現 ○認知症施策の推進 ○在宅医療・介護連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合事業の啓発 ○ケアマネ連絡会の開催 4回 ○生活支援ネットワーク運営会議に参加し 情報を共有6回 ○フォーラム・ワークショップの開催1回 ○認知症予防教室の開催 参加人数50人 ○地域ケア座談会の参加 5回 ○「こころのノート」の普及
人材	<ul style="list-style-type: none"> ○研修へ積極的に参加 ○専門職の特性を活かす 	<ul style="list-style-type: none"> ○各自研修への参加 ○グループスーパービジョンの参加 ○事例検討会の参加 2回 ○週1回のミーティング開催

事業所名称	ひなた	登録定員	29名
サービス種別	小規模多機能型居宅介護（介護予防含む）		
サービスの特色・方針	<p>利用者が在宅での生活を継続・維持できるように、また、ご家族が在宅での介護を継続・維持できるように「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを組み合わせて臨機応変に対応・援助して行く。</p> <p>そのために、利用者ご本人、ご家族と相談を密にし、寄り添う介護を実践する。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>①利用者の生活地域での溶け込み援助 ②緊急受け入れと入所までのつなぎ ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発</p>		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<ul style="list-style-type: none"> ○ご利用者様を個別の視点できめ細やかな対応ができるよう職員間での密な連携を図る ○多様化したニーズに対応できるように臨機応変な体系の構築を図る ○常に、ご利用者様の状態把握に努め適切な介護度を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用開始時のアセスメント作成と都度、更新をする。職員間で共有するための回覧確認の徹底 ○小規模多機能の特性を利用者・家族にしっかり説明する。併せて、職員の理解度も確認していく ○介護度に見合ったサービスの量を適切に判断し不公平感を是正する
財務	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の目標売上をクリア ○健全な事業運営を目指す ○食事などの自費部分の見直しを検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○月間売り上げ 620 万円を目指す 登録者 要介護 24 名 要支援 2 名 合計 26 名以上の登録 ○支出経費を削減し無駄を省く 収支差額の黒字化 ○仕入れ価格、仕入れ先の検討 原価に見合った対価の設定を検討し必要に応じて値上げを検討実施

業務	<p>○BCP マニュアル（事業継続計画）のアップデート</p> <p>○計画的な内部・外部研修の参加実施により職員のスキルアップを図る</p> <p>○SNS の発信により事業活動の啓発をはかる</p>	<p>○BCP 訓練の実施と問題点の見直し変更を繰り返す (年2回以上の各訓練を実施)</p> <p>○個別に学習目標を設定し能力・職位に合わせた計画的な研修の実施 (内部・外部研修の参加・WEB の活用)</p> <p>○閲覧数を増やしフォロワー数を増やす。広報委員以外にもインスタの操作ができるようにする。</p>
人材	<p>○職員の定着をはかる為、職員間の連携や風通しの良い働きやすい環境作りの構築</p> <p>○適材適所、無理のない働き方を実現できるよう個性の尊重に目を向けた人材作りをチームで行う</p>	<p>○定期的な職員会議（月/1回）の開催で活発な意見交換、互いの個性の尊重をはかりチームワーキングを高める</p> <p>○自己覚知を探求し成長が実感できるよう研修会の積極的な参加実施を行う</p>

事業所名称	グループホームひなた	定員	18名
サービス種別	認知症対応型共同生活介護（介護予防含む）		
サービスの特色・方針	要支援2～要介護5までの認知症の方に、家庭的で落ち着いた雰囲気の中、食事の支度や掃除、洗濯などをスタッフと共に行い、生活に満足出来るようなケアを提供する。認知症の方が混乱しないで普通の生活を送る事が出来るよう配慮し、画一的では無く、個々の生活を重視することにより、認知症の進行を穏やかに出来るようケアする。		
社会福祉への取り組み	①利用者の生活地域での溶け込み援助（運営推進会議の開催：年6回） ②状態に合わせた施設の説明と特養との連携 ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発（認知症サポーター養成講座）		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<ul style="list-style-type: none"> ○ご入居様の認知症を個別に理解し対応できるようにする ○ご利用者様の満足度をあげ、居心地の良い環境作りを実施 ○入院しないで生活が維持できるように体調の維持を図る ○施設入居し認知症を患っていても、季節を感じ、その人らしさを持ち続ける事ができるように配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症に対する知識を深めるよう定期的に学ぶ機会を作る （認知症内部研修：年4回） （認知症実践者研修：2名参加） ○職員の気付く力を高め混乱を軽減する ○日々の状態観察、情報共有（ケアカルテの活用） 軽度な運動ができ体力を維持できるように日々、職員が促す ○季節に合わせた行事計画をたてて実施する 日常の中に、季節や趣味嗜好を大切にできるように職員の関わり方に意識づけを行う
財務	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の目標売上をクリア ○目標稼働率をクリア ○無駄な支出を削減し適切な施設運営を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○月間売り上げ710万円を維持 ○月間稼働率98%を維持 ○不必要な経費見直しの為、業者や消耗品の見直しや光熱費の無駄を削減する

業務	<p>○BCP マニュアル（事業継続計画）のアップデート</p> <p>○計画的な内部・外部研修の参加実施により職員のスキルアップを図る</p> <p>○業務（委員・係）担当・ケース担当の見直しで仕事の責務を意識づける事で職員間の業務の偏りが軽減できるようにする</p>	<p>○BCP 訓練の実施と問題点の見直し変更を繰り返す （年 2 回以上の各訓練を実施）</p> <p>○個別に学習目標を設定し能力・職位に合わせた計画的な研修の実施 （認知症実践者研修、介護福祉士の取得を後押しする。WEB の活用）</p> <p>○担当表の作成と業務内容の明確化で個々の職員が責任を持つようにする</p>
人材	<p>○職員の定着をはかる為、職員間の連携や風通しの良い働きやすい環境作りの構築</p> <p>○適材適所、無理のない働き方を実現できるよう業務の明確化を図る</p>	<p>○定期的なミーティングの実施で活発な意見交換、互いの個性を尊重しチームワーキングを高める （全体会議：2 か月/1 回、ユニット会議：月/1 回、事例検討：適宜）</p> <p>○介護助手（有償ボランティア）の活用で職員がより専門性のある業務を行う事ができるようにする</p>

事業所名称	ルンビニこども園	定員	100名
施設区分	幼保連携型認定こども園		
保育の理念・方針	<p>ルンビニこども園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『仏教』を基本理念として保育・教育します。</p> <p>園名の由来にもあるとおり、ルンビニこども園は仏教保育をするこども園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします</p> <p><生命尊重> (1) めぐみの心を持ち、生命を尊重できる様に導く。</p> <p><修善> (2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む様に導く。</p> <p><協調> (3) 自分の立場を考え、他と協調できる様に導く。</p>		
社会福祉への取り組み	在園中の家庭に限らず、地域の子育て家庭に向けても情報の発信に努めます。		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<p>■<u>保育の標準化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもを中心においた保育を模索し、どの職員も同じ対応ができるよう標準化を目指します。 ○子どもの育つ力を後押しします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との連携を密にとり、子ども一人一人にあった保育を提供します。 <p>保育参加への保護者の出席率 75%</p>
経営（財務）	<ul style="list-style-type: none"> ○直接入所契約となる1号認定児童の入所率を高い水準で維持できるような情報発信に努める。 ○安全安心に配慮し、選ばれる園になるよう勤める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月1回の園庭開放を実施し、地域に対する園情報の発信に努めます <p>園庭開放(支援ひろば事業) 12回/年 1号認定児童の入所率 100%</p>
運営と業務	<p>■<u>ホームページの活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○園の情報発信 ○利用希望者の増加 ○就職を検討する学生へのアピール 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの内容の充実とこまめな更新を図り、園の理解促進につなげます。
職員（人材）	<p>■<u>職員のスキルアップ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育士のキャリアアップ制度並びに各種外部研修の受講が事実上義務化されました。これまで以上に参加しやすい人員配置を計ります。 <p>■<u>仏教保育について園内研修の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○若い職員も多くなり、既存職員に対してもあらためて仏教保育について周知する研修を充実させる。 <p>■<u>職員の定着</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○働きやすい職場環境を維持し、退職しやすい雰囲気をはたす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども園として充実した保育・教育が提供できるよう、採用活動をすすめる。 <p>加算対象職員数の充足率 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員を含め、あらためて仏教保育の本分について研鑽を積む。 <ul style="list-style-type: none"> ○離職職員を減らし、職員数の安定を図る

事業所名称	ルンビニひかり園	定員	100名
施設・事業所類型	幼保連携型認定こども園		
保育の理念と方針	<p>・仏教を基本理念とし、子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される園を目指しています。又、《感謝の気持ち》を育て「ありがとう」が言える心豊かな人間性を持った子どもに育成します。</p> <p>【保育目標】</p> <p>1、めぐみの心を持ち、命を尊重できるよう導く</p> <p>2、善悪を見極め、絶えず正しい方に進むよう導く</p> <p>3、自分の立場を考え、他と協調できるよう導く</p>		
保育の特色	<p>・自園給食と食育</p> <p>・年齢別保育と異年齢保育の融合</p> <p>・体育指導、音楽指導、英語教室、茶道</p>		
社会福祉への取り組み	地域子育て支援拠点事業の経営 相談窓口の開設		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<p>■子育て支援</p> <p>○保育参加時に面談を行い、保護者の悩み等に寄り添う。</p> <p>■保護者アンケートの実施 (保育内容・給食) 公表</p>	<p>○一年に一回は保護者面談を行い、子育てを支援していく。</p> <p>○「保育参加」の参加率 100%を目指す。</p>
経営（財務）	<p>■1号認定児の募集</p> <p>○HP や支援センター等で募集を呼びかける。</p> <p>■こまめな節電を心掛ける</p>	<p>○3、5歳児の1号認定児の募集を継続していく。</p> <p>○保育室のエアコンの設定温度を夏場は下げ過ぎず、冬場は20℃とする。</p>
運営と業務	<p>■広報活動の充実</p> <p>○ルンビニひかり新聞、HP</p> <p>■保育環境の充実</p> <p>○玩具など保育環境の見直し</p>	<p>○ルンビニひかり新聞…年6回発行</p> <p>○HP…週1回は更新する</p>
職員（人材）	<p>■職員のスキルアップ</p> <p>○参集型に限らず、オンライン研修にも積極的に参加する。</p> <p>■園内研修の充実</p> <p>○グループワークを取り入れた研修を行い、若手の職員が発言しやすい環境を設定する、</p>	<p>○正規職員は全員一回以上、外部研修に参加する。</p> <p>○HP や求人媒体を利用し、職員募集を継続していく。</p> <p>○園内研修の内容を職員から募り、充実した学びとなるよう検討する。</p>

事業所名称	ルンビニあゆみ園	定員	129名
サービス種別	幼保連携型認定こども園		
保育の特色・方針	<p>ルンビニあゆみ保育園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『仏教』を基本理念として保育します。</p> <p>園名の由来にもあるとおり、ルンビニ保育園同様、仏教保育をする保育園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします</p> <p><生命尊重></p> <p>(1) めぐみの心を持ち、生命を尊重できる様に導く。</p> <p><修善></p> <p>(2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む様に導く。</p> <p><協調></p> <p>(3) 自分の立場を考え、他と協調できる様に導く。</p> <p>個別対応の乳児保育担当保育をおこないます。</p> <p>遊びを通じ、子どもの主体性を育む保育をおこないます。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>地域の子育て拠点として、園庭開放、子育て広場などおこないます。</p> <p>実習生、ボランティア、見学者の受け入れをします。</p>		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<p>■保護者への情報発信</p> <p>○保育参観やおたよりをはじめとした保育内容の発信、また保育内容を理解していただく。</p>	<p>○今後も、おたより、ホームページ、動画配信をおこなっていく。保育参加の参加率100%を目指す。</p>
経営（財務）	<p>■1号認定児、0歳児の募集</p> <p>○1号認定児の募集は順調。0歳児については、職員を雇用し、できるだけ早く定員に達するようHPなどで発信していく。</p>	<p>○4月当初入園児童数124名</p> <p>0歳児 5名 3歳児28名</p> <p>1歳児18名 4歳児28名</p> <p>2歳児18名 5歳児27名</p> <p>内1号認定児は10名</p>
運営と業務	<p>■広報活動の充実</p> <p>○外部に向けホームページの活用</p> <p>■不適切な保育をおこなわないために</p> <p>○職員間の風通しを良くして、仕事に余裕を持って取り組む。保育への意識を高めていく。</p>	<p>○今後も週2回程度の更新を目指す。</p> <p>○すでに業務内容は見直しを終えている。情報を発信し、職員同士の話し合いや、連携を一層深めていきたい。</p>
職員（人材）	<p>■職員のスキルアップ</p> <p>○処遇改善を確保するため、キャリアアップ研修を計画的に受ける。</p> <p>■職員の採用</p> <p>○年度途中でも、職員採用をすすめていく。</p>	<p>○異動や退職により、条件をクリアした人材が流出することを見越し、研修を進めていく。</p> <p>○0歳児の受け入れや、職員の休暇取得につなげたい。育休復帰予定者がいるが、出産希望者も複数いるため。</p>

事業所名称	ルンビニ保育室 花びら	定員	12名
施設・事業所類型	小規模保育事業所 A型		
保育の理念と方針	ルンビニ保育室『花びら』は、小規模保育事業所(A型)です。保育理念、保育方針はルンビニこども園に準じます。		
保育の特色	対象年齢は0.1.2歳児。乳児保育担当制の保育を行います。		
社会福祉への取り組み	浅羽中央公園の利用、および自治会奉仕作業への参加。実習生、ボランティア、見学者の受け入れ。		

今年度の挑戦（令和6年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
子どもと保護者	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの育ちに寄り添い、発達に合わせた保育の提供 ○保護者面談月間を設け、相談しやすい環境を心掛ける ○育児情報の配信 	<ul style="list-style-type: none"> ○最低月1回程度のケース会議を行う ○就労の負担にならないように土曜日に面談日を設ける ○年1～2回育児サロンを開く
経営（財務）	<ul style="list-style-type: none"> ■定員割れの状況改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的な園児募集を行い、最終園児数14名を目指す
運営と業務	<ul style="list-style-type: none"> ■Instagramの活用 ○ドキュメンテーション配信 ○保育の専門性を活かしたあそびや生活を配信する事で、利用希望者の増加へ繋げる 	<ul style="list-style-type: none"> ○過度にならない間隔で定期的な配信をする
職員（人材）	<ul style="list-style-type: none"> ■研修への参加 ○積極的にスキルアップに努める ○園内研修の充実化 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的にキャリアアップ研修受講者を決める。 ○職員相互の学びあいと育成